キズナエピソード

丘田マリアンヌ　4話

//ヴィジュアルノベル形式開始

//渋谷・外

マリアンヌの様子がおかしい。

その日、彼女の顔を見て俺はそう直感した。

「マリアンヌ、最近何かあったのか？」

「な、何もないっスよ。

　今日はちょっと用事があるんで、ここで失礼するっス……」

俺は呼び止めたものの、マリアンヌはそそくさと帰っていく。

体調でも悪いのかな。その時の俺は、そんなことを思っていた。

//暗転

//ヴィジュアルノベル形式終了

//ADV形式開始

［マリアンヌ］

（とびおくんに、余計な心配はかけたくないっス……）

//暗転

//漫研部室

［］

一日前

聖チャールズ学院

漫画研究部　部室

［マリアンヌ］

「な、なんスか、これ……」

［漫研部員A］

「マリアンヌちゃんどうしたの？」

［漫研部員B］

「うわっ……それマリアンヌちゃんが作った冊子だよね。

ひどい……ビリビリに破られてる……」

［マリアンヌ］

「い、いったい、誰がこんな酷いことを……」

//暗転

//聖チャールズ学院廊下

［］

聖チャールズ学院・廊下

［マリアンヌ］

（人だかりができてる……？

何かあったんスかね？）

［女生徒A］

「あ！　見て見て！　あの子がそうよ」

［女生徒B］

「へー、大人しそうな顔してるのに

人は見かけじゃないのね」

［マリアンヌ］

（な、なんスか。

やけに周囲の目が僕に向いてるんスけど……？

それに、ヒソヒソ話しているのは……？）

［マリアンヌ］

（みんなが見ているのは……掲示板の貼り紙？

いったい、何が貼って――）

［マリアンヌ］

「っ！！」

［掲示板］

『3年C組の丘田マリアンヌはコミケに参加してまーす。

そこで変態キモ男をひっかけてオフパコしてまーす。

パコパコパコパコしまくりでまじキモイ。サイテーwww』

［マリアンヌ］

「な、なんスか、これ！

誰がこんな……」

［女生徒C］

「オフパコって、男の人とアレだよね……

オタク同士でヤリまくるとか、

マジ、キモいんだけど」

［女生徒E］

「オフパコってなになに？」

［女生徒F］

「知らないのー？

確か、オタクの人が集まって3Pとかするやつだよ」

［女生徒D］

「何それ！　地味な子ほど、そういう時は豹変して

はっちゃけちゃうのかな……」

［女生徒G］

「丘田さんって漫研の中では、見た目カワイイもんね……

それにスタイルも悪くないし、

体売って漫画買ってもらってたりして～」

［女生徒H］

「へー、そうやって周りのオタク男をたぶらかしてるんだ？

コスプレとかもしちゃってんのかな？

うわ！　想像するとチョーキモイ……。」

［マリアンヌ］

「ち、ちが……、

ぼ、僕は……、そ、そんなこと……」

［先生］

「こら、あなた達！　休み時間は終わってザマスよ！

さっさと各自の教室に戻るザマス！

丘田さん、アナタは、ちょっとこちらへ……」

［マリアンヌ］

「せ、先生……⁉　ち、違うんっスよ！

こ、これは……」

//暗転

//聖チャールズ学院・3年の教室

［先生］

「ふぅ……。

それで、丘田さん、

この紙に書いてあることは事実なんザマスか？」

[マリアンヌ]

「ち、違うん……ス、

せ、先生……僕、こ、こんなこと……」

［マリアンヌ］

「あ、でも、えっと、その……

コミケに参加しているってのは、

こ、これは、ほ、本当っスけど……」

［先生］

「そこで、男性を捕まえて、その……

淫らな行為をしている、というのは？

どうなんザマスか!?」

［マリアンヌ］

「ひぅっ！　な、仲のいい男の子は居るっス……

で、でも、とび……、えっとその男の子とは、

ちゃんとしたお付き合いで……」

［先生］

「なななな……っ！

そんな場所で知り合った男性とお付き合いだなんて、

ふ、不潔ザマス！」

[先生]

「まったく、わが聖チャールズ学院に

あなたみたいな不良生徒がいたなんて残念ザマスね…」

［マリアンヌ］

「え、えぇ⁉　ふ、不良生徒……？

僕が……？」

［先生］

「丘田さん、あなたがしているのは不純異性交遊ザマス！

これは、立派な校則違反なんザマス！

退学処分にもなりかねない由々しき問題ザマスよ！」

［マリアンヌ］

「そ、そんな……

いや、でも……えっと、その……うぅ……」

［りり］

「ちょっと待ったー！」

[先生]

「ザマ!?　あなたは⁉」

[りり]

「先生さぁ～、ダメだよ～

そんなデマに引っかかっちゃ！」

［先生］

「あなたは……確か２年生の槍水さん……ザマスね。

今、授業中でしょ？　教室に戻るザマス！

ここは3年の教室ザマスよ？」

［りり］

「はいはい、用が済んだら戻るって！

まず、マリ夫がコミケに参加してるってのは本当。

漫研なんだもん、それくらい普通っしょ？」

[先生]

「な、なんザマスかその不良みたいな口の利き方！

そ、そこは違反ではないザマス。

先生が言ってるのは……」

［りり］

「キモオタとオフパコってヤツっしょ？

馬鹿げているにもほどがあるでしょうよ～、

証拠も何もねぇわけじゃん！」

［先生］

「し、しかし、火のないところに煙は立たない、

とも言うザマス！

それに丘田さんは実際にそこで男性と……」

［りり］

「あー、とびおのことでしょー？

アイツはアタシの弟！　あれれ～？

友達と友達の弟と遊んじゃいけない校則なんてあんの？」

［先生］

「な、なるほどザマス。そういうことならば……

丘田さん、あなたは聖チャールズ学院の生徒ザマス！

くれぐれも誤解を招くような行動は慎むように！」

［りり］

「ふう～……マリ夫、大丈夫だった？

アタシが来たからには、もう大丈夫だからね」

［マリアンヌ］

「りりちゃん……」

［マリアンヌ］

（僕をかばってくれて、ありがとう……。

先生の誤解を解いてくれたのも嬉しい……。

でも……もう手遅れだよ……）

//暗転

［女生徒A］

「……え？　それ本当？」

［女生徒B］

「槍水さんって、昔からすごい遊んでたらしいよ」

［女生徒C］

「あ！　私も男の子と一緒に歩いてるトコ

見たことあるある！」

［女生徒D]

「じゃあ、その友達の丘田さんもソッチ系なのかな？

地味な顔して男遊びもお盛んだったりとか……。

あのビラの話、やっぱホントなんじゃない？」

[りり]

「……ったくアホらしい噂が広まっちゃってるね～

マリ夫、こんなの気にしちゃダメだからね！」

［マリアンヌ］

（い、嫌だ……みんなが僕を見る目……、

あの時と……中学校の時と同じっス……

僕の描いた漫画、バカにされて……）

[マリアンヌ]

（変なオモチャを見つけたみたいな……、

こ、怖い目……！　や、やだ……やだよ！

そんな目で、僕を見ないで……！）

［りり］

「ねぇ、マリ夫……？　聞いてる？

どうしたの？　具合、悪いの？」

［マリアンヌ］

「イ、イヤ……

イヤァァァーーーッ！」

//マリアンヌ退場

［りり］

「お、おい！　マリ夫!?

どこ行くんだよ、おい！　マリ夫ー！」

//暗転

//外

［マリアンヌ］

（だ、ダメ……も、もう耐えられないっス！

あの目……、あんな目で見られたら……

ぼ、僕……もうあんな目にあいたくないっスよ……！）

//ADV形式終了

//4話終了